

問題解決能力を身につける（問題認識と解決プロセス）

グローバル人材として活躍するために必要な能力の一つに「問題解決能力」があげられます。問題解決能力とは、何か問題が起きた時、それを正しく分析し判断し解決していくことができる能力です。本校 SGH プログラムでは、この能力を高めることでグローバル人材としての質を高めていきたいと考えています。

9月5日、問題解決能力向上の第一回として、問題認識と解決プロセスについて学びました。

<問題認識>

生徒には30以上の文章を読み、各自「問題」だと感じるものを選びました。しかし、他の生徒と見合わせてみてビックリ。自分と他人とでは問題だと感じる感覚も理由も大きく違っていたのです。生徒たちは「問題」とは、本来あるべき姿と現状とのギャップであり、主観的な存在であることを理解し、人によって問題であるかどうかは異なることを理解しました。

<解決プロセス>

次に問題解決をする上で必要なプロセスについて考察しました。解決のためには、問題のテーマ設定→状況分析→課題の再定義→原因分析→解決策立案の5つのプロセスが必要であることを学び、身近な問題を解決するためのプロセスを各自で考えてみました。

今回は普段意識していない「問題」という言葉をまずはしっかりと認識して、問題解決能力習得のための第一歩を踏み出すことができました。

悩みながらも「問題」について考える生徒たち

